

平成 15 年度  
関修委第 2 回研究協議会

と き 平成 15 年 9 月 19 日(金)  
14 時 ~ 16 時

ところ 東京文化会館 大会議室

# 関東地区公立中学校修学旅行委員会

(事務局 財団法人 全国修学旅行研究協会)

< 第 2 回研究協議会 次第 >

開会のことば ..... 後藤 明 運営委員長

あいさつ ..... 金澤昭雄 副会長  
柳川達郎 全修協理事

## 議事

1. 平成 15 年度修学旅行専用列車の実施状況について
2. 平成 17 年度修学旅行専用列車の申込み・割付について
3. JR 東海ダイヤ改正に伴う修学旅行団体の取り扱いについて
4. 研究委員会の活動状況について ..... 越井文夫運営委員(久保研究委員長代理)
5. 第 39 回修学旅行研究発表会について
6. 修学旅行に関する陳情・要請活動について
7. JR 東海・JR 東日本との意見交換会について
8. その他
  - (ア) 関修委監修「関西の旅」の利用推進について
  - (イ) (財)全修協主催 第 20 回全国修学旅行研究大会への参加について

閉会のことば ..... 石毛茂昌 副会長

事務連絡 (事務局)

## 1. 平成 15 年度修学旅行専用列車の実施状況について

### (1) 全体状況

平成 15 年度修学旅行専用列車は、4 月 17 日～6 月 26 日(除く 4 月 25 日～5 月 6 日)、秋期 9 月 10 日から 9 月 17 日まで延 104 日間運行し、785 校 122,624 人の生徒の安全で快適な輸送を終了した。東海道新幹線特急料金 5 割減免を伴う計画輸送により 6 億 3 千万円余の保護者負担軽減を図ることができた。

県別・コース別の実施校数・人数等は下表の通り。

また 5 月 18 日のニュースで、訪日中の台湾人医師の SARS(急性重症呼吸器症候群)感染の影響で、関西方面の連合体利用校では 1 校がやむなく中止の判断を行った。(後日、延期の形で実施された)

**表 1 平成 15 年度修学旅行専用列車実施状況**

(単位：校、人)

方 面 県	関 西					東 北 コース	合 計
	Aコース	Bコース	Cコース	秋 期	小 計		
茨城県	40 6,590	89 12,413	2 402	-	131 19,405	-	131 19,405
栃木県	94 14,859	30 2,837	-	-	124 17,696	-	124 17,696
群馬県	-	37 3,159	-	-	37 3,159	1 56	38 3,215
埼玉県	162 27,035	93 15,157	61 10,952	8 1,390	316 53,144	-	324 54,534
千葉県	86 15,215	38 4,872	40 6,988	-	164 27,085	4 689	168 27,774
合 計	380 63,699	287 38,438	103 18,352	8 1,390	772 120,489	5 745	785 122,624
運行期間	4/17 ~ 6/25 7/14 (除 4/25 ~ 5/6)	5/7 ~ 6/9	5/7 ~ 6/25	9/10 ~ 9/17		5/20 ~ 5/21 6/4	

\*運転期間は出発日ベース。斜字は人数

**表 2 修学旅行専用列車の利用状況(平成 14 年度～16 年度)**

利用率=利用校数÷設置校数

(単位：校、%)

年度 県	平成 16 年度		平成 15 年度		平成 14 年度	
	利用校数	利用率	利用校数	利用率	利用校数	利用率
茨城県	129	54.9	131	55.7	136	57.9
栃木県	120	69.4	124	71.7	128	74.0
群馬県	39	21.8	38	21.2	42	23.5
埼玉県	319	75.6	324	76.8	327	77.5
千葉県	173	44.9	168	43.6	169	43.9
合 計	780	56.0	785	56.3	802	57.5

(2) 各県の状況

茨城県

栃木県

群馬県

埼玉県

千葉県

2. 平成 17 年度修学旅行専用列車の申込み・割付けについて

(1) 申し込みの学校数と生徒数

表3 平成 17 年度修学旅行専用列車申込み状況

(単位：校、人)

方 面 県	関 西					東 北 コース	合 計	16 年度
	Aコース	Bコース	Cコース	秋 期	小 計			
茨城県	40 <i>6,163</i>	87 <i>11,292</i>	2 <i>261</i>		129 <i>17,716</i>		<b>129</b> <b>17,716</b>	129 <i>18,508</i>
栃木県	98 <i>13,681</i>	23 <i>2,364</i>			121 <i>16,045</i>		<b>121</b> <b>16,045</b>	120 <i>16,483</i>
群馬県	6 <i>346</i>	33 <i>2,719</i>			39 <i>3,065</i>		<b>39</b> <b>3,065</b>	39 <i>3,220</i>
埼玉県	186 <i>29,741</i>	73 <i>10,497</i>	52 <i>8,922</i>	7 <i>1,139</i>	318 <i>50,299</i>	1 142	<b>319</b> <b>50,441</b>	319 <i>51,408</i>
千葉県	114 <i>17,535</i>	33 <i>3,885</i>	36 <i>6,052</i>		183 <i>27,472</i>	3 328	<b>186</b> <b>27,800</b>	173 <i>26,563</i>
合 計	<b>444</b> <b>67,466</b>	<b>249</b> <b>30,757</b>	<b>90</b> <b>15,235</b>	<b>7</b> <b>1,139</b>	<b>790</b> <b>114,597</b>	<b>4</b> <b>470</b>	<b>794</b> <b>115,067</b>	780 <i>116,182</i>
16 年度	458 <i>72,402</i>	224 <i>28,039</i>	85 <i>13,666</i>	10 <i>1,761</i>	777 <i>115,868</i>	3 314	780 <i>116,182</i>	

上段：校数、下段：人数

申込み校の増加 ... 対 16 年度 14 校増  
 増加校の内訳 ... 栃木県 1 校(B コース)、千葉県 13 校(A コース 16 校増・C コー ス 3 校減)  
 生徒数の減少 ... 少子化傾向により、申込み校数増にもかかわらず申込み人員では 1,115 人の減少となっている。

(2) **割付け・組み合わせから出発日発表までの手順**

**割付けの大枠決定**（設定日の目安と県別ローテーション）

5月30日総会・第1回研究協議会で決定

**学校からの申込み**

6月1日～7月16日

**割付け・組合せ作業**（各県別留意事項）

7月22日(火)～9月12日(金) 全修協事務局

**組合せ原案作成**

9月16日(月)頃 全修協事務局

**各県の組合せチェック**

9月下旬～10月上旬各県委員会にてチェック後、事務局へ連絡

**組合せの最終確認と決定**

10月17日(金) 第3回研究協議会にて最終確認・決定

**決定割付表冊子(輸送計画表)の配付**

11月17日(月)頃、事務局より各県に送付

茨城県・栃木県・群馬県は各県委員長宛、埼玉県・千葉県は地区委員宛  
部数は、利用校2部・独自実施校1部

**各学校への決定通知**

各県委員長・各地区委員より学校へ配付

**外部への発表**

11月28日(金)11時 関修委ホームページに掲載

### (3) 割付けの基準並びに各県留意事項

#### 平成 17 年度、関修委連合体割付基準

#### 【A 各県共通 1 留意事項】

##### 1. コース別、割付基本人員(1日当たり)

方面	路線名	コース名	列車の種別	1日当りの計画人数 (1編成平均割付人数)		付帯事項
関西	東海道 新幹線	春季関西 A	専用臨時列車	1,200 名	1,100 ~ 1,200 名	1,000 名に満たない 場合は定期列車混乗
		春季関西 B	専用臨時列車	1,200 名	1,100 ~ 1,200 名	1,000 名に満たない 場合は定期列車混乗
		春季関西 C	定期列車混乗	400 名	350 ~ 400 名	* * *
		秋季関西 C	定期列車混乗	400 名	350 ~ 400 名	* * *
東北	東北 新幹線	東北	専用臨時列車	600 名	500 ~ 600 名	500 名に満たない 場合は定期列車混乗
	山形 新幹線	山形	定期列車混乗	200 名	200 名	金・土 出発は 140 名まで
	東北山形 新幹線	東北・山形併用	定期列車混乗	200 名	200 名	金・土 出発は 140 名まで

##### 2. コース別、県割付の基本ローテーション(平成 17 年度)

- (1) 関西 A コース 栃木県・茨城県・群馬 / 千葉県 / 埼玉県
- (2) 関西 B コース 茨城県・栃木県・群馬 / 千葉県 / 埼玉県
- (3) 関西 C コース 千葉県 / 茨城県 / 埼玉県

##### 3. 割付の際の留意点

- (1) 県内ローテーション
- (2) 学校が避けて欲しい特別日(開校記念日、県民の日など)
- (3) 乗り継ぎ列車 乗り継ぎ列車は往復利用が大原則
  - 1) 常磐線は 1 日 1 編成まで(A コースと B コースは重複して運転しない)
  - 2) 高崎線・両毛線等・東北線で 1 日 2 編成まで
- (4) 車椅子の希望校について
  - 1) A・B コース共に車椅子使用校は 1 列車につき 1 校を割り付ける

## 【 B 各県別留意事項】

### 茨城県

- 1) 常磐線臨時列車は1日1本。A・Bが重複利用できない。
- 2) 岩井市は1日でまとめて出発。
- 3) 古河地区は駅混雑緩和のため、出来るだけ1日1校とする。
- 4) 結城地区は小山駅から東北新幹線利用、栃木県とかち合わないように
- 5) Aコースは栃木県の東北新幹線利用校を先に割り付ける。
- 6) Bコースは茨城県の臨時列車利用校を先に割り付ける。但し、両毛線臨時列車の割付人員と小山駅東北新幹線利用人員は茨城・栃木共調整する。

### 栃木県

- 1) Aコースは栃木県の東北新幹線利用校を先に割り付ける。
- 2) 茨城県の結城・下館地区と小山駅でかち合わないように。
- 3) Bコースは茨城県の臨時列車利用校を先に割り付ける。但し、両毛線臨時列車の割付人員と小山駅東北新幹線利用人員は茨城・栃木共調整する。
- 4) 足利地区の臨時列車は1日当たり380名(6両)を目途に月～木発希望
- 5) 小山経由は高崎線(群馬・埼玉)と重複(大宮・上野)させない
- 6) 新幹線利用Aコースは1列車当たり200名を目途とし1列車複数校を避ける  
1日当たり月曜日は300名、その他曜日は600名目途とする。
- 7) 東武鉄道利用は臨時列車利用の場合1日当たり4両280名6両420名以内  
A・Bコースの重複を避ける。
- 8) 6月第1週の金・土・日は県の体育大会のため前後の出発日は含めて避ける  
平成17年 6/3(金)・4(土)・5(日)の予定。(正式決定はH16年の2月頃)

### 群馬県

- 1) 県内ローテーション
- 2) 乗り継ぎ臨時列車 380名 6両編成(183系) 600名 10両編成(183系)  
乗車区間別車両編成 吾妻線6両編成 1単位3両 190席  
両毛線と上越線は 両編成を限度 乗り継ぎ列車は往復利用が大原則
- 3) 上越新幹線の利用  
原則、高崎駅から1列車当たり200名限度(土・日は別)  
使用予定列車は たにがわ号

### 埼玉県

- 1) 県内ローテーション 西部 東部 北部 南部
- 2) 高崎線臨時列車はA・B共に1日1列車600名10両編成(183系)が限度
- 3) 旧大宮市連合は1編成当たり毎日 東・西で組み合わせ
- 4) 埼葛地区は同じ出発日にJRと東武鉄道の利用校を組み合わせる

### 千葉県

- 1) 県内ローテーション(図省略)
- 2) 乗り継ぎ列車の関係等で地区を重複させる必要がある。
- 3) 市川・習志野・鎌ヶ谷等は京葉線・武蔵野線・総武線各停・総武線快速に分散。
- 4) 松戸・柏・流山・我孫子・野田等は常磐線快速・武蔵野線・千代田線に分散。
- 5) 市原・君津・木更津地区は外房線・内房線・総武快速線・京葉線の分散。
- 6) 成田線(湖北・布佐・小林・印西・栄等)1日1校。
- 7) 土・日を含む発着を希望の学校に注意する事。
- 8) 同一新幹線には同一市町村2校以内で割付を希望。

- 9) 浦安地区は旅行中同地区の学校が重ならないように。
- 10) 鎌ヶ谷地区は連続しないように。
- 11) 千葉県民の日 6月15日(水)。

### 3. JR東海のダイヤ改正に伴う修学旅行団体の取扱いについて

#### (1) 16年度以降の修学旅行専用列車のダイヤ

- 1) 連合体輸送は、「ひかり号」から「のぞみ号」へ運行形態を変更。但し、平成16年度Cコース休日出発は「ひかり号」利用。
- 2) 専用列車の運行ダイヤ  
次ページを参照願います。

#### (2) 修学旅行団体の取扱い

- 1) 連合体輸送の料金割引(50%)は「のぞみ号」利用にも適用。
- 2) 平成16年度実施分は、「ひかり」料金を適用する。

#### (3) 料金体系

駅名	のぞみ(改定後)		ひかり(現行)
	東京	新横浜	東京
名古屋	6,090	5,460	6,090
	5,540	4,690	4,490
京都	7,980	7,670	7,980
	5,540	5,220	5,240
新大阪	8,510	8,190	8,510
	5,540	5,540	5,240

上段：運賃、下段：普通指定席特急料金      ひかり号・こだま号の指定席等は据え置き

### 4. 研究委員会の活動状況について

### 5. 第39回修学旅行研究発表会について

#### (1) 開催内容

開催ご案内を参照下さい。

#### (2) 各県の参加要請人数

茨城県	群馬県	埼玉県	千葉県	栃木県	合計
40名	10名	40名	40名	170名	300名

参加申し込み期限

10月10日(金) 各県修学旅行委員長(部長)迄

10月17日(金) 第3回研究協議会で各県参加予定人員(名簿)を報告

## 6. 陳情・要請活動について

### (1) 平成 16 年度修学旅行費等の国庫補助金増額陳情について

#### 1) 陳情内容

対象：全国公立小中学校在籍の要保護・準要保護家庭及び高度へき地(3級～5級地)の児童生徒を対象に修学旅行費並びに校外学習費の国庫補助金

**表 4 平成 16 年度修学旅行等の国庫補助金の要望額**

(単位：円)

行事種別	学校種別		16 年度 要望額	前年よりの 増 額	15 年度 決定額
修学旅行	中 学 校		56,100	200	55,900
	小 学 校		20,800	200	20,600
校外学習	中学校	宿泊を伴う場合	5,940	100	5,840
		宿泊を伴わない場合	2,280	100	2,180
	小学校	宿泊を伴う場合	3,570	100	3,470
		宿泊を伴わない場合	1,700	100	1,600

#### 2) 陳情先・陳情者

陳情先 = 文部科学省 8月5日(火)、財務省 10月6日(月)を予定

陳情者 = 財団法人 全国修学旅行研究協会

関東地区公立中学校修学旅行委員会

東海三県中学校修学旅行委員会

近畿地区公立中学校修学旅行委員会

あおぞら号近畿地区運営協議会

## 7. J R 東海、J R 東日本との意見交換会について

## 8. その他

### (1) 関修委監修「関西の旅」の利用推進について

#### 1) 平成 16 年度修学旅行用申込み等

- ・ 11 月下旬、関修委封筒にて版元より各学校へ内容見本及び申込み書を送付。
- ・ 学校より直接版元への申込み

#### 2) 出版元(教材研究所)からの説明(第 3 回研究協議会にて予定)

### (2) (財)全修協主催 第 20 回全国修学旅行研究大会への参加について

#### 1) 開催日程

- ・ 日 時 平成 15 年 10 月 31 日(金) 13 時 ~ 16 時
- ・ 会 場 東京・日本青年館
- ・ 主 題 「みんなで創ろう 21 世紀の修学旅行」  
旅の原点から新しい修学旅行を考える
- ・ 内 容 開催ご案内を参照下さい。

#### 2) 関修委からの参加について

- ・ 各県最低 5 名の参加をお願いしたい。
- ・ 参加者名簿を FAX にて事務局へ送付。10 月 7 日(火)締切